

ひざし

2015 5

No. 195



玉ねぎ定植作業の様子

(湧別町南兵村一区 吉村智之さん圃場にて)

農業協同組合通常総会

J A えんゆう 広報誌

ひざし

2015.5月号 No.195

今月の主な記事

「新体制でさらなる事業推進を目指す」 第16回えんゆう農業協同組合通常総会	2～3
役職員一同 就任挨拶 代表理事専務 菅井 誠	4
「山口専務、9年間お疲れ様でした」 山口哲朗専務退任式 退任挨拶 前代表理事専務 山口 哲朗	5
立茎アスパラガス「遠軽によっきーず」収穫出荷作業 えんがる「旬」の祭典アスパラ料理フェアお知らせ	6
上湧別地区で玉ねぎ定植作業始まる フレッシュミズ酪農班料理教室開催	7
第17回年金友の会総会 えんゆう酪農ヘルパー組合通常総会 えんゆう乳牛検定組合通常総会	8
遠軽厚生病院だより	9
春季農事部懇談会 主な意見・要望	10～11
理事会あらまし 読者の声	12
クロスワードパズル 優績総合表彰 J A として表彰を受けました	13
平成26年度農畜産物共励会 いもたま作造くん	14

新体制でさらなる事業推進を目指す



と開会挨拶を述べる中川組合長(写真左円内)

えんゆう農業協同組合第16回通常総会が4月10日、上湧別農村環境改善センターで組合員334名(本人出席129名、代理出席34名、書面171名)が出席し、全9議案が原案通り決定し、再任された中川代表理事組合長を始めとする新体制が決定しました。

(役員氏名は4ページに掲載)

総会は定刻の午前10時より、山口専務の開会宣言の後、出席した組合員・役職員・来賓全員で J A 綱領を

朗唱し始めました。

開会に先立ち中川菊夫組合長が、「26年度事業は、組合員の皆さんからの良質な農畜産物の出荷に支えられ、本年度の販売実績額が126億6千万円余りと計画を大きく上回り、1億7200万円の剰余金処分案を提案出来るのも、組合員の皆様の積極的な農協事業への結集の賜物」と感謝の意を表し、「J A への出資金増資の第3年目も無事に増資をいただき、自己資本比率、固定比率ともに向上し、さらなる財務基盤の改善を図ることが出来た。組合員の農協に対するご理解ご協力に感謝したい」とお礼の言葉を述べました。



表紙写真：玉ねぎ定植作業の様子
(湧別町南兵村一区
吉村智之さん圃場にて)

第16回えんゆう



議長を務めた湧別町北兵村三区の松浦健治さん(左)と
遠軽町豊里の前島英樹さん(右)



第16回通常総会の様子



引き続き、来賓を代表して石田湧別町長、佐々木遠軽町長、高橋JA北海道中央会北見支所長、越智オホーツク農業共済組合副組合長より祝辞をいただき、武部新衆議院議員からの祝電を菅井誠総務委員長が披露

した後、松浦健治氏(湧別町北兵村三区)、前島英樹氏(遠軽町豊里)の2名を議長に選任し、議案審議に入りました。

平成26年度事業報告、平成27年度

の事業計画、規約の変更、さらに役員を選任など、全9議案が原案通り承認され、中川代表理事組合長を始めとする新役員17名が選任されました。

また、「TPP等国际貿易交渉から北海道を守り抜く」決議案を宍戸宏光青年部長が、「農協改革に関する」決議案を新国妙子女性部長が強く読み上げ、満場一致で採択されました。

最後に中川組合長の閉会挨拶、山口専務の閉会宣言で午後0時10分、全日程が終了しました。



行政ならびに関係機関等を代表して祝辞を述べる石田湧別町長(左上)と佐々木遠軽町長(右上)、JA北海道中央会の高橋支所長(左下)、オホーツクNOSAIの越智副組合長



TPP等国际貿易交渉から北海道を守り抜く決議案を朗唱する宍戸青年部長(左)と農協改革に関する決議案を朗唱する新国女性部長(右)



《役員一同》

☆新役員（敬称略）

代表理事組合長

中川 菊夫（上湧別）再

代表理事専務

菅井 誠（遠軽）再

理事（総務委員長）

箭内 秀幸（遠軽）再

理事（経済委員長）

関口 哲治（上湧別）再

理事 阿部 和彦（上湧別）再

理事 八巻 武則（上湧別）再

理事 久須田 栄治（生田原）再

理事 岡和田 博（上湧別）新

理事 横尾 俊雄（上湧別）新

理事 高橋 敬貴（遠軽）新

理事 古関 則一（白滝）新

理事 馬場 秀人（使用人兼務）再

理事 笹原 重敏（使用人兼務）新

代表監事

佐藤 直行（上湧別）再

常勤監事

石丸 政雄（遠軽）再

監事 高橋 淳（生田原）再

監事（員外）

井上伸一郎（上湧別）再

就任挨拶

代表理事専務

菅井 誠



平年より早い融雪により、春耕起をむかえ、組合員の皆様方におかれましては何かとご多忙のことと存じます。

先般おこなわれた農協役員改選で皆様方の推挙をいただき、専務理事を引き受けることとなりました。大変身の引き締まる思いであり、責務の重大さを痛感しております。

昨今の農業を取り巻く環境は、TPP交渉問題、そして農協改革など、先が見通せない厳しい状況が続いております。しかし、組合員各位の力を農協に結集すれば、必ず乗り越えられると信じております。そして、将来の展望が開かれるよう微力ではありますが組合長をお支えし、誠心誠意努力してまいりたいと存じます。

最後になりますが、組合員ならびにご家族におかれましては、健康管理はもちろん、農作業事故に留意いただき、今年も豊稔の秋をむかえられることをご祈念申し上げます、専務就任のご挨拶といたします。

山口専務9年間お疲れ様でした

4月10日に開催された第16回通常総会での役員改選で惜しまれつつ勇退された山口哲朗専務の退任式とその後任として新たに専務になられた菅井誠専務の就任式が4月13日、JA本所で職員参加のもと開催されました。



女子職員から花束を受け取る山口専務

とすの役員改選の皆さんのお力添えがあったからです。今、花束をいただきましたが、皆さんの想いがこもっているのかとても重たく感じます。ありがとうございました」と謝辞を述べました。

その後、後任として就任された菅井専務から、山口専務への感謝を込めた就任挨拶があり、役職員の拍手に見守られて退場されました。

山口専務、長い間大変お世話になりました。お疲れ様でした。

山口専務の退任式では、中川組合長、そして鈴木職員会会長から惜別の言葉が述べられた後、女子職員ならびに職員会長より花束と記念品が山口専務に送られました。

挨拶に立った山口専務は「今日までやってこられたのも組合長を始めとする役員の方々の皆さんのお力添えがあったからです。今、花束をいただきましたが、皆さんの想いがこもっているのかとても重たく感じます。ありがとうございました」と謝辞を述べました。

退任挨拶

前代表理事専務

山口哲朗

春陽の候、組合員の皆様におかれましては、今年の畑仕事も始まりを迎えて、何かとご多忙のことと存じます。

さて、先日の第16回通常総会をもって、代表理事専務の職を退任させていただきます。この間、大過なく職務をまっとう出来たのも組合員の皆様からのご指導、鞭撻、職員の皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

振り返ってみますと、当時の旧遠軽町農協時代に38才の若輩者だった私が「自分たちの農協を良くしていきたい」、「昨日より今日、今日より明日、少しずつでも良い農協にしていきたい」、「この一心で農協の理事となり、今日までの26年間、理事、そして専務として奉職してきました。平成11年に旧上湧別農協との合併により、えんゆう農協が誕生し、その後、丸瀬布町・生田原町両農協との二度目の合併があり、地域組合員に愛される農協としての発展を目指してきました。組合員がそれぞれ経営の転換期を迎えて、経営努力をしても結果を残せない中、「同じ仲間

を何とか救いたい」と奮闘し、思い悩む毎日でした。

しかし、そんな折、役員の方々の皆様からいただいた一言一言がどれほど私を勇気づけてくれたか、あらためて感謝申し上げます。

また、今回退任する9年の間、私は4人の組合長に仕えてきました。その間、組合長が様々な問題に対処する姿を、間近で拝見し、微力ながらお支えすることが出来たことは、私にとつて大きな財産になりました。

現在、農業と農協を取り巻く環境は大変厳しい状況です。TPP交渉問題、農協改革など、難局が待ち構えています。しかし、組合員が同じ志を持って結集したとき、どのような難局も打開出来ると信じています。私も一組合員として農協に同じ志を持って結集し、支えていきたいと思っております。

最後になりましたが、組合員の皆様のご多幸、ご健勝とえんゆう農協の益々の発展をご祈念申し上げます、退任の挨拶といたします。ありがとうございました。

立茎アスパラガス「遠軽によつきーず」の収穫 出荷作業が始まっています

「遠軽によつきーず」のブランド名で知

られる遠軽町立茎アスパラ生産組合（岡村貴幸組合長）に所属している6戸の立茎アスパラガス栽培農家では、4月上旬からアスパラガスの収穫が始まりました。

生産者の皆さんは、それぞれのビニールハウス内で育てたアスパラガスを一本ずつついでに収穫した後、岡村さんのお宅にある選果場でサイズ別に選果をお

こない、JAから青果市場などを通じて日本全国に販売しています。

また、取材当日は、生産組合に所属する生産者が集まり、目合わせ会を開催して、今年の作況やサイズ、栽培方法などをそれぞれのハウスを回りながら意見交換をおこないました。

今年も昨年同様、良い作況とのこと、販売量の増加が期待出来そうです。また、



出荷の目合わせする生産者の皆さん



ハウスの中ではよきによきとアスパラが伸びて収穫を待ちます

5月1日から遠軽町内の飲食店で地産地消イベント「匠のアスパラ料理フェア」が開催されます。ぜひこの機会にご堪能下さい。

えんがる「旬」の祭典 匠のアスパラ料理フェア開催

この機会に遠軽町の「旬」の食材「アスパラ」料理を堪能してみてください。

フェアメニューご注文の方に、各店オリジナルサービス有。

詳細は [遠軽商工会議所HP](#) をクリック！

■期間 5月1日（金）～5月31日（日）

■参加店（順不同）

居酒屋味尚本店、ホテルマウレ山荘、居酒屋焔ばた、居酒屋味の一福、北の味萃翔、軽食喫茶コンコルド、お食事処マギー、居酒屋やすべえ、cafe' deTIROL、ホテルサンシャインレストランがんぼう、焼肉ハウス美味しんぼ、中国家常酒屋 456、酒肴えんみや、ぼっぼ家大和殿、食事処まさる、ミートバビリオン YOSHIKAWA、生田原温泉ノースキング、洋食居酒屋サルーテ、道の駅しらたき



お問合せ先 オホーツクえんがる産業振興協議会 (<http://www.engaru-cci.or.jp/>)
(事務局：遠軽商工会議所 TEL 0158-42-5201)

上湧別地区で玉ねぎの定植作業が始まる

好天に恵まれた4月下旬、上湧別地区では一斉に玉ねぎの定植作業が始まりました。

玉ねぎの定植作業は、2月に播種してビニールハウスの中で育てた苗を、5月上旬までの間、極早生種を皮切りに中晩生種までを順次、おこなわれ、農家の皆さま



玉ねぎの植付作業をする吉村諄郎さん（中央）と畑作りするお父さんの智之さん（右後）

んは家族やアルバイトを総動員して、畑作りと苗運び・植付・補植を分担しながら作業します。

今回、取材にうかがった湧別町南兵村一区の吉村智之さんの家では、今年は約11haの玉ねぎ栽培を予定しているそうで、作業の合い間に智之さんの後継者で昨年

就農した諄郎^{あつろう}さんに話を聞くと

「去年は就農して初めての年で、わからないことばかりでしたが、父さんに教わりながら良い玉ねぎを作ることが出来ました。今年も去年よりもっと良い玉ねぎを作りたいと思います」と笑顔で話したあと、農作業に戻っていききました。

今年の上湧別地区では、玉ねぎ栽培農家61戸が極早生から晩生の5品種、合計549haの栽培を計画しており、今年も昨年の出来秋に負けない豊穡の秋となることが期待されます。

地場産品を使って美味しいおもてなし料理を手づくり JA女性部フレッシュミズ酪農班料理教室

JA女性部フレッシュミズ酪農班では、4月22日に湧別町保健福祉センター（湧別町錦町）で料理教室を開催して、地場産品を使っておもてなし料理を部員7名で手づくりしました。



レシピを確認しながら調理を進める部員の皆さん

今回、湧別町総合支所福祉課保健予防係の田中美千代先生に教えてもらい、花や自動車をかたどったデコ巻きずし、ローストビーフ、ほうれん草とベーコンのキッシュ、じゃがいものスープ、牛乳プリン

の5品をみんな協力しながら、2時間ほどでおもてなし料理を作り、全員で美味しくいただき、楽しい料理教室になりました。今後も様々な企画を考えていきますので、多くの部員のご参加よろしくお願ひ申し上げます。

第17回年金友の会総会

第17回年金友の会総会を、4月15日から17日にかけて、2班375名の参加を得て温根湯ホテルで開催しました。

開会挨拶に立った八巻光嘉会長は、「平成26年度の友の会事業実施に当たり、参加協力いただいたお礼と本年度も会員相互の親睦と健康増進のため、パークゴルフ大会、温泉保養に多くの会員の参加をお願いします」と述べ、謝意を表しました。

来賓祝辞では、第一班は石丸常勤監事、第二班は菅井専務から、JA野金・共済を始め農協と関係子会社の各事業を日頃よりご愛用いただき、決算報告についてご挨拶をもらい、総会も事業報告ならびに事業計画について報告し、閉会しました。



自慢ののどや踊りを披露する会員の皆さん

懇親会では、1班は関東悟副会長、2班は宮内勝博副会長の乾杯音頭に続き、カラオケ大会では会員の皆さんから、自慢の喉を披露していただき、盛会のうちに全日程が終わりました。

現在、会員数は1788名となり、大きな組織体となっております。これも会員の皆さんの口コミによる宣伝と勧誘のおかげであり、感謝申し上げます。

また、当JAを新しく年金受取金融機関としてご指定いただき、粗品の贈呈、さらには年金友の会行事への参加、年金優遇定期貯金と、様々な特典がありますので、友人知人等のご紹介を今後ともよろしくお願い申し上げます。

えんゆう酪農ヘルパー利用組合

えんゆう酪農ヘルパー利用組合第4回通常総会は4月23日、JA本所にて組合員63名が出席のもと、湧別町、遠軽町、JAえんゆうから来賓を迎えて開催しました。

開会挨拶にたった澤口豊副組合長は「酪農ヘルパーの利用も堅調であり、組合員の皆さんにはお礼申し上げます。今後は利用料の改訂等を進めるとともに、今後皆さんのご理解ご協力をいただき、今後とも組合事業の推進を図っていききたい」と謝意を表しました。

総会は、平成26年度事業報告ならびに収支決算等の全議案が原案通り承認されました。



今回、議長を務めた遠軽町美山の筋内優貴さん(左)と上湧別札富美の熊谷直哉さん(右)

えんゆう乳牛検定組合

えんゆう乳牛検定組合第5回通常総会は4月23日、JA本所にて組合員47名が出席のもと、湧別町、遠軽町、JAえんゆう、網走農業改良普及センター、NOSA Iオホーツクから来賓を迎えて開催しました。

総会議案協議に先立ち、優秀農家表彰がおこなわれ、牛群能力の部1名、生涯能力優秀牛で4名5頭が情野修組合長から表彰されました。

総会は、平成26年度事業報告ならびに収支決算等の全議案が原案通り承認され、盛会のうちに閉会となりました。



優秀農家表彰を情野組合長(左)から受け取る(有)エムファクト代表の秋葉宏之さん(右)

第93回住民公開講座 「切れ目ない医療と連携」

遠軽厚生病院の診療圏は、愛知県と同じぐらい

の広さであり、このオホーツク地域の中で、「地域センター病院」としての役割を担っています。

当院に設置されている「地域医療連携室」では地域住民のみな様が住み慣れた場所で安心して医療を受けられるように、地域の医療・保健・福祉機関と連携を密にとっています。

今回は、医療機関との連携の一つである「紹介予約」と「セカンドオピニオン」についてご紹介します。

《スムーズな紹介予約》

当院は高度専門医療を積極的にこなっており、最先端機器や高度設備が充実している他、各科には専門医や認定医も多くいますので、地域から紹介されて来院される患者様もいらつしやいます。もし、紹介状だけを持って当日ご自分で受付する場合は、待ち時間が生じるなど、困ることがあるかもしれません・・・。

当院「地域医療連携室」では、地域の医療機関から紹介される場合や大学病院等へ紹介する場合などにおいて、当日の受診がスムーズにできるように事前に医療機関と調節を行い、診察予約をとってから、患者様へご案内しています。そのため、受け取った予約票を持って、予約時間に直接病院へ行くことができるため、時間的にもスムーズになります。

《当院のセカンドオピニオン外来》

セカンドオピニオンとは、医師の診断や治療法について、患者様が他院の医師の意見を求めることをいいます。先日、アメリカ大リーグで活躍しているダルビッシュ選手が、野球の試合中に肘の靭帯を怪我したのをご存知でしょうか。彼は最善の治療法を選択するために、このセカンドオピニオンを受けています。アメリカでは1980年代からセカンドオピニオン外来は始まっているそうです。当院にもセカンドオピニオン外来があり、完全予約制で、専門医が対応しています。今かかっている主治医からの情報提供（検査データなども必要）がなければ一般的なお話しかできませんので、必ず主治医の承諾を得て予約することをおすすめしています。対象外となるケ-

J A北海道厚生連 遠軽厚生病院

地域医療連携室長兼看護副部長

岩谷 さゆり



すもありませんので、相談したいことがありますしたら当院地域医療連携室へ電話連絡をしてください。

おわりに

遠軽厚生病院は基本方針の一つに、「慈しみある医療」を掲げています。「目の前で苦しんでいる患者様・ご家族を自分の家族のように思い、医療・看護を提供すること」です。これからも地域の医療を守っていくために努力していきたいと思えます。



春季農事部懇談会が開催されました



農協に対して、多くの意見・要望が寄せられました

3月30日から4月4日にかけて、23地区9会場において、春季農事部懇談会が開催され、多くの組合員が出席しました。懇談会では、平成26年度JA収支決算、農畜産物販売高、農協がおこなっている事業進捗度合い、今後の取組などを説明するとともに、組合員から多くの意見・要望が寄せられました。

主な事項についてお知らせするとともに、理事会において十分検討し、今後の事業推進に反映させてまいります。

なお、記載漏れ・内容不備があった場合はご容赦願います。

春季農事部懇談会の 主な意見・要望

【営農関係】

1. マイクロバスの運行について、今後はおこなっていくのか。
↓研修等でご利用いただいているが、少人数での利用も多くあり、費用対効果を今年1年かけて見極め、入替時にはワゴン車等の導入も含め考えてまいります。

2. 各部会研修について助成をお願いしたい。

↓部会研修の申請があれば対応していきたい。

3. コントラクターの大型機械について、順次更新を願いたい。

↓コントラクター事業の投資計画に基づき、その時の有利な事業等を活用し、運営に支障の無いように順次更新してまいります。

4. 各農事部の人数が減少しており、地区同士での再編協議が難しいので、農協主導で農事部再編をおこなって欲しい。
↓地区再編については、地区新役員により取り進めたい。

【資材関係】

1. 肥料について、資材窓口で組合員の要望に応えることが出来るよう人材

【春季農事部懇談会出席者】

	午 前	午 後
3月30日(月)	屯市・5の2・5の3 24名	4の3 14名
3月31日(火)	開盛・札富美・旭 13名	4の1・4の2 21名
4月1日(水)	富美・上富美 14名	5の1 14名
4月2日(木)	安国・生田原・清里 14名	丸瀬布・白滝 15名
4月3日(金)	遠軽・学田・清川 社名淵・瀬戸瀬第1.2 25名	合計 154名

の育成をしてほしい。
↓今後においては、出来る限り生産者ニーズに応えることの出来るような商品の提案と職員研修などで自己研鑽に努めたい。

【農産関係】

1. 種芋の保管場所について、カルビー倉庫での対応を考慮してほしい。
↓使用料および管理料を検討し、カルビーと協議いたします。

2. 野菜基盤強化事業について、採択にならなかった理由を教えてください。
↓不採択の理由については詳細な連絡はない。全国規模の応募に対して、ポイントの高い順番での採択であり、当農協がどの位置にあるか不明。

3. 新築建築予定の小麦施設利用料を教えてください。
↓事業見積が現在のところ出てきていない状態であり、詳細の算出は出来ない。ただし、新築するため現状よりは固定費が上昇すると考えている。

【畜産関係】

1. 新聞などの報道で、プレミアム乳価などが取り上げられているが、当農協では何か考えていないのか。

↓昨年度取り進めた乳牛導入助成事業に、生乳増産奨励事業を加えて選択制とし、対策をおこないます。(乳牛導入時の助成金または生乳増産出荷に対する助成金)

2. 牧野事業において、乳牛はきちんとステージ毎に分けて管理をおこなっているのか。
↓3ステージに分けて管理をおこなっているが、再度管理に對して、授精業務・妊鑑業務を徹底してまいりたい。

【管理】

1. 出資配当について、Aコープなどの関連会社の商品券などでの対応であれば、再度農協に利益をもたらすのではないのか。
↓法に照らし合わせて可能かどうか検討していきたい。

2. 将来のためにも農協が出資して、農業法人を作る考えはないのか。
↓将来的には必要と考えられるが、現在は具体的には考えていない。

3. 利用高配当は農協に積み立てるべきではないのか。
↓基本的に、増資中は組合員へ出来るだけお返ししたい。

4. 出資配当は今後も続けていくのか。
↓続けてまいりたい。

5. 組合員と准組合員の割合はどうなっているのか、准組合員の利用規制がおこなわれると農協にどんな影響があるのか。
↓当期末での割合は、正組合員11・3% 准組合員88・7%の割合となる。

国は、一方で農協のインフラにより地域住民の生活を守る役割を課し、Aコープ、給油所などのライフラインを維持する利用を奨励しています。そして、もう一方では今回の農協改革で提案された通り「准組合員に対して利用制限をかける」という考えを示しています。この2つの考えは相反しており矛盾しています。国は農協の実態をもっと理解する必要がありと考えますが、万が一、金融事業に准組合員規制がかけられた事を想定した時、影響を受ける貯金額は准組合員・員外者が持つている全体の約半分の貯金額となります。准組合員に規制がかかった場合、どの程度まで許容範囲とするかで大きく変わってきますが、仮に「総体貯金額の利用規制は3割までとする」となった場合、当農協

の40%の准組合員貯金額は放出しなければならなくなり、その貯金額は全体の20%、63億2千万円となります。一年で増加する貯金額を26年度に増加した5億円として換算すると、12年を超える貯金積み上げ量が一瞬にて消える事となり、その影響は計り知れません。

【その他】

1. (株)ゆうゆう入居時の居宅料について、入院した場合の料金について知りたい。
↓食事代のみ差し引いた金額にて請求をおこなう。(家賃と共益費のみの支払い)

2. 光回線ネットの普及について、希望者を募ってN T Tに働きかけしてほしい。
↓利用出来ない地域の把握をおこない、署名などを通じN T Tに働きかけていきたい。

3. 牧草作業時のシート掛け手伝いについて、本年も変わらず継続してほしい。
↓今年度も引き続き継続していく。

4. 給油所の営業時間を再考してほしい。
↓状況を把握して検討したい。

理事会のあらまし

第4回理事会（平成27年4月30日）

業務報告書の行政庁提出について

◇報告事項

て

原案通り承認されました

1. 春季農事部懇談会の主な意見・要望について

6. 組合員に対する資金貸付について

2. 年金友の会総会結果について

7. 役員に対する承認されました

3. 組合員の異動について

7. 役員に対する資金貸付について

4. 固定資産の取得について

8. 検査指摘事項に対する改善状況等の報告について

5. その他

◇議案

1. 役員改選にかかる執行体制について

9. 平成27年度生乳増産経営安定化対策について

原案通り承認されました

10. 遠軽町停電対策事業について

2. 平成27年度理事報酬の配分について

11. 理事との利益相反取引に関するクミカン貸越極度額設定について

3. 役員退任慰労金の支給方法・支給時期について

12. 出資金の譲渡について

原案通り承認されました

原案通り承認されました

4. 固定資産の取得について

原案通り承認されました

5. 平成26年度業務報告書及び連結

原案通り承認されました

読者の声

します。（P.N ゆうの母より）

今年の冬は大雪に見舞われて皆さんご苦労されましたね。ようやく畑の土も出て、農作業が始まる季節が訪れました。良い年でありますよう祈っております。今年曾孫が小学校に入学して、ビデオを見せてもらい、目頭が熱くなりました。子供の成長は早いと思いましたが、私たちは一年一年衰えるばかりです。

今年は駆け足でやってきた春でしたね。JAも営農へのサポートをさせていただきますので、健康管理与農作業事故にご留意願います。

（匿名）

今年はあれだけ多かつた雪もあつという間になくなりましたね。まだまだ元気なお便り待っています。

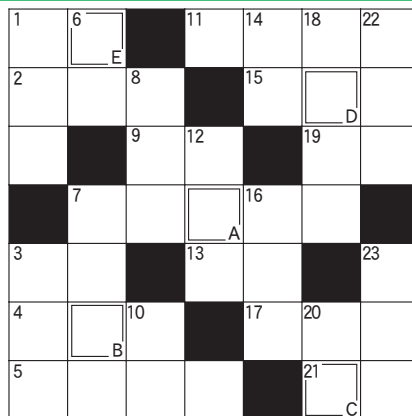
昨年より10日早く原種チューリップが咲きました。雪が多かつた冬にもかかわらず、トラクターが早くから畑に入れたかと思つと、また雪とか、今年の天候もどんなことになるか分かりませんね。そんな中でも生産者の皆様、持てる力を存分に発揮してがんばってください！

桜前線が北上して来ました。

（P.N チューリップおばさん）

いよいよ本格的に農作業が始まります。主人と二人三脚で豊穣の秋を目指してがんばりますので、ご支援よろしくお願いいたします。

今、まさに上湧別チューリップ公園も見頃をむかえている頃ですが、今年も豊穣の秋を祈念するばかりです。



A	B	C	D	E

4月号の答えは「ハナミズキ」でした。
 農作業事故には留意願います。
 当選者は下記の方々です。

湧別町富美 松田 清子 さん
 湧別町南兵村二区 原田 貞子 さん
 湧別町南兵村三区 片岡 節子 さん

～ 応募方法 ～

応募用紙に答え・住所・氏名を明記し、
 身近な話題・変わった出来事等を書き添
 えてFAXにてご応募下さい。
 正解者の中から抽選で毎月3名の方に、
 粗品をプレゼント致します。

締め切り **5月25日(月)**

🕒 タテのカギ

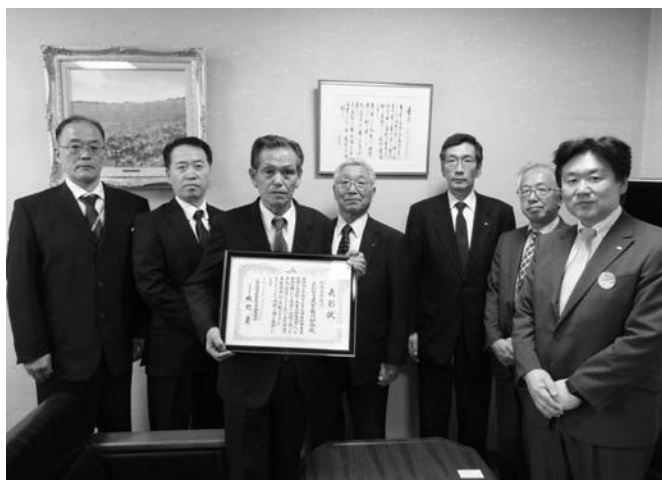
- 1 日本では水洗化が進んでいます
- 3 足袋に付いている金具
- 6 方位磁針のN極が指す方向
- 7 はっきりしない 模糊(もこ)とした状態
- 8 海流とも呼ばれる親潮
- 10 6月の第3日曜日は の日です
- 12 漢字で書くと軍鶏 ニワトリの一種です
- 14 すずりですります
- 16 アンデルセンやグリム兄弟が著したものの
- 18 ごまなどを油をひかずに加熱すること
- 20 梅雨時は食物や浴室に生えやすくなります
- 22 レイシともいわれる果物
- 23 ワタの種子から取った繊維 あるいはそれで織った布

🕒 ヨコのカギ

- 1 6月10日は の記念日
- 2 によるりと長い胴を持つ小動物
- 3 男女が出会った途端に落ちること
- 4 関東では養殖のブリ、関西では若いブリをこう呼びます
- 5 易者が占いに使う細い棒
- 7 傘を忘れたので軒先を借りて……
- 9 ライオンのことです
- 11 まつげに塗る化粧品
- 13 割、分、厘のさらに下
- 15 現在を挟んで過去とは反対側
- 17 みそ汁によく入れられる海藻
- 19 ーに就いて、用意、ドン！
- 21 詰めガラスー ビールー

全道のJAバンクでJAえんゆうが「優績総合表彰JA」の表彰を受けました

北海道信連が全道のJAを対象に共励事業として毎年おこなっている「北海道信用事業優績JA選考基準」の選考の中で、当JAが総合的に上位に位置する成績であったことから「総合表彰JA」として表彰を受けました。



JAの取り組みが高い評価を受けました

貯金量の増加、各種ローンの取扱、年金受取口座の獲得、JAカードの推進等、金融事業全般にわたる推進実績が認められたものと判断いたします。これも組合員の皆様をはじめ地域の方々の方々の多方面にわたるご協力ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

この表彰を機に、皆様からさらなる信頼される金融機関を目指して役職員一同努力してまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

平成26年度 農畜産物共励会 各賞決定

甜菜の部 山口 秀雄 氏 (4の2地区) ha 当たり糖収量 13.78 t	小麦の部 藤井 浩行 氏 (5の1地区) 反当たり収量 680 kg	玉葱の部 本人希望のため氏名未掲載 (5の3地区) 反当たり収量 7,410 kg
ブロッコリーの部 花木 慶喜 氏 (4の2地区) 反当たり金額 230,604 円	馬鈴薯の部 斉藤 範幸 氏 (白滝地区) 反当たり収量 3,803 kg	牛乳の部 安藤 弘司 氏 (札富美地区) 1頭当たり生産乳代 1,061,411 円
総合乳質の部 須藤 智弘 氏 (丸瀬布地区) kg 当たり乳代 92.519 円	本年度より各作目の最優秀者を表彰することといたしました。 今後、年1回、5月の広報誌にてお知らせいたします。	



いもたま作造くん
 第181号 あったかいんだからあ〜
 作: HIDE TO
 絵: HISAMI